



三河本苑だより

7月号

2022・7 No.482

(発行者)

大本三河本苑

〒443-0031

蒲郡市竹島町28-5

TEL 0533-69-7518

FAX 0533-69-1455

お知らせ

東海教区合同 名古屋分苑開催
「教本3級認定講習会」
 — 受講者募集 —
 【日時】7月23日(土)24日(日)

宣 教 部

5月30日遷座祭・鎮座祭

本苑長あいさつ

大本三河本苑長 加藤 三樹

ただ今は大本皇大御神さまの遷座祭、厳の御霊の大神、瑞の御霊の大神さまの鎮座祭、そして市杵島姫命さまの遷座祭を厳肅に執り行いました。祭典の準備、執行、誠にありがとうございました。

この佳節に、天のご三体の大神さまの大本皇大御神、厳の御霊の大神、瑞の御霊の大神さまを、三社で三つのお宮で奉斎することの意義について考えてみたいと思います。

三代教主さまは、「大本は何をするところですか、端的にお教え下さい」との質問に、「大本は、まことの神を拜ませてください」と

「こゝろです」とお答えになりました。「まことの神」は、宇宙の造り主であり万物の太祖(おおおや)で、「主神」(すしん)とも呼ばれています。私たちがまことの神、主神を拜ませてくださいいたした時、主神は2つの異なる働きをする神に分かれて現れ、私達をお救いしようと活動を開始されます。その1つの働きが父としての働き、経糸の働きで、その働きをされる神が厳の御霊の大神です。もう1つの働きが母としての働き、緯糸の働きで、そ



ご神体を旧床・仮床から新床に移す

大神さまのお働き、ご神徳を明確にして、三社でお祭りをしていきます。中央が大本皇大御神、向かって右が厳の御霊の大神、向かって左が瑞の御霊

の働きをされる神が瑞の御霊の大神です。

本日、この厳の御霊の大神、瑞の御霊の大神さまのご神体を、新しく鎮座しました。

この鎮座に併せて、旧神床から新しい神床に遷座しましたご神体は、大本皇大御神のご神霊です。大本皇大御神は、今お話ししました主神と、その分身であります厳の御霊の大神、瑞の御霊の大神をも含めた、全ての正しい神々の総称です。本日より、このご三体の

の大神です。私たちが病氣平癒等のご祈願をする時、ご神号奉称後に「おほもとのり」とには書いてありませんが、「辞分けて、瑞の御霊の大神、守りたまめへ幸はへたまへ」と奉称し、特に

- 7月の行事
- 2日(土) 直心会長生殿献労
 - 17日(日) 本苑七月月次祭
 - 23日(土)~24日(日) 教本3級認定講習会 (名古屋分苑)
 - 24日(日) 誠心会万祥殿献労
 - 未定 少年夏期学級(中止)
 - 8月の行事
 - 21日(日) 本苑八月月次祭
 - 27日(土)~28日(日) 本部講師葬祭研修会 (名古屋分苑と合同開催予定)

三河本苑公式LINE



コチラから
本苑だより更新中

瑞の御霊の大神さまのお働き、ご神徳をお願いしています。これからご三体の大神さまを三社でお祭りしていくことにより、それぞれのお働きが明確になり、この三河の地におけるご守護がますます厚くなり、そしてその範囲が大きくなります。

大本祭祀の本来のあり方として、重要な神床は三社のお宮であるとしてあります。また三社の奉斎は地方機関では本苑に限られ、しかも新改築、もしくは記念大祭時に限ると規定されています。

現在、全国で三社奉斎している地方機関は5機関あります。北海本苑、京都本苑、岡山本苑、鳥取本苑、そして熊本本苑です。

三河本苑として、この度の新しい神の家の新築、本苑設立50周年の記念大祭と、またとないこの機会に三社奉斎が実現しました。改めて、大神さまに、そして皆様に、深く感謝申し上げます。ありがとうございます。

今回は、天のご三体の大神さまを三社で奉斎する意義について、お取次ぎさせていただきまして。本日は、遷座祭、鎮座祭へのご参拝、誠にありがとうございます。

「マイ祝詞」「マイ箸」「マイボトル」「マイタオル」持参でお願いします

献勞のよろこびが広がる！



五月十五日の春季大祭も無事に終えさせて頂きました。皆様には、祭典終了後より新しい神の家の掃除誠に、ありがとうございます。コロナ禍で中々お会い出来なかった方々も沢山にお越し頂き、五十七名ものご参加をいただきました。久しぶりに活気あふれる皆様の献勞のお姿に

活気あふれる皆様の献勞のお姿に感動

直心会長 野田 庸子

感動を致しました。

これから機会あることにお掃除のご奉仕があると思いますので、どうぞ、宜しくお願い致します。

そして秋の大祭には、清々しい神の家にて教主様をお迎えさせて頂きたいと思っております。